

第2期ふじみ野市環境基本計画 後期行動計画（案）に関する意見等の募集結果について

■提出期間

令和4年12月12日から令和5年1月10日まで

■意見の募集結果

提出者数 1名 提出件数 5件

■意見提出方法の内訳

郵便	0件	ファクシミリ	0件
電子メール	1件	直接書面による提出	0件

■担当課

環境課

■意見の概要と市の考え方

意見の概要	市の考え方（修正がある場合は修正内容）	修正
P51 (1)地球温暖化防止活動の推進 市の施策として、「温暖化ガスの吸収源としての緑地機能の向上」を加えた方が良いのではないかと。	市内の緑地については、市街化が進んでいるため、減少している状況となっております。現在「ふじみ野市緑の基本計画」の見直しを行っており、減少傾向の緑地を少しでも維持していく目標を掲げる予定でございます。 本計画では、第6節「温室効果ガス排出量の削減に向けた取組」の中で取組内容として掲げております。	なし

<p>P53</p> <p>緑地管理や街路樹剪定にともなう枝葉及び建築廃材などについて、バイオマス熱資源としての有効利用を検討してはどうか。(現状、産業廃棄物として市外へ持ち出されているようである。)</p>	<p>緑地管理や街路樹剪定に伴う枝葉については、シルバー人材センターによって回収された後、他の一般廃棄物と一緒に「ふじみ野市・三芳町環境センター」において焼却処分しております。その際に発生する熱を用いて発電を行っており、環境センター及び余熱利用施設エコパにおける電力のほぼ全量を賄っている状況です。</p> <p>また、回収された枝葉について、チップ化することによる有効活用については今後検討してまいります。</p> <p>建築廃材については、市では処理困難物として取扱っていることから有効活用が難しい状況です。</p>	<p>なし</p>
<p>P55 (1)環境に配慮した交通体系整備の推進</p> <p>市の施策として、運輸部門からの温室効果ガス排出削減のため、交通渋滞の解消に係る施策（県道 56 号線、東武東上線 上福岡駅踏切の立体交差化の検討等）を加えた方が良いのではないか。</p>	<p>県道 56 号線にある東武東上線南側の踏切については、タウンミーティングでもアンダーパス又は高架してはどうかといった要望をいただいておりますが、踏切周辺の相当広い土地を買収する必要があり、費用対効果を検証していた結果、中止という結論に至った経緯がございます。</p> <p>よって、本計画では公共交通機関、自転車及び徒歩での移動を重視する目標を掲げ市民、事業者及び市が一体となって温室効果ガス排出量の削減に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>また、東武東上線の高架化につきましては、東武東上線の市町で構成される東武東上線改善対策協議会により、東武鉄道株式会社へ引き続き要望してまいります。</p>	<p>なし</p>

<p>P56 (2) リサイクル運動の推進</p> <p>三富地域の「武蔵野の落ち葉堆肥農法」にあわせた取組として、緑地や街路樹管理で発生した枝葉や落ち葉の堆肥化を推進してはどうか。</p>	<p>緑地管理や街路樹剪定に伴い生じた枝葉や落ち葉については、ふじみ野市・三芳町環境センターにおいて、焼却処分することにより、余熱利用施設エコパにおいて有効活用している状況でございます。</p> <p>また、街路樹等の落ち葉は一部市民団体が堆肥化を行い有効活用しております。</p>	<p>なし</p>
<p>P74 骨格となる緑の保全と継承</p> <p>骨格となる緑地（県指定のふるさと緑の景観地2地域及び大井弁天の森）ごとに、主要樹木などの現状調査に基づく管理計画を策定し、第三者委員会の助言も受けながら計画的な保全・管理を推進してはどうか。</p>	<p>骨格となる緑地につきましては、開発等がされないように特別緑地保全地区に指定するなどして、現在のままとった緑を保全できるように適切に維持管理を行ってまいります。</p>	<p>なし</p>